



EM-553

SGマーク制度は、  
空気ポンプの欠陥によって  
発生した人身事故に対する  
補償制度です。



新SG規格  
適合製品

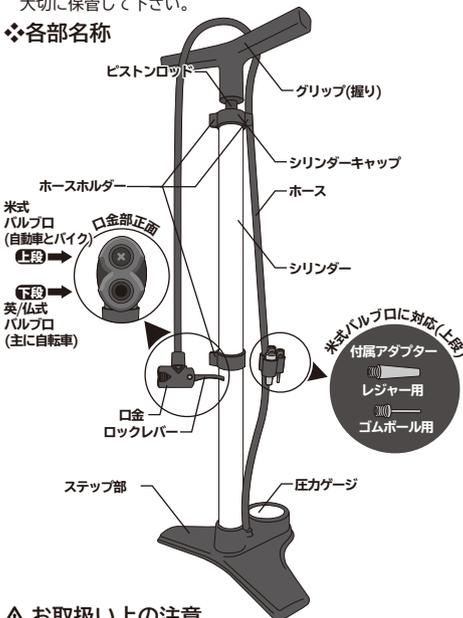
エマーソン

# クルマとバイクのポンプ

## 取扱説明書

※本製品のご使用前に、必ず本書をお読みのうえ  
大切に保管して下さい。

### ◆各部名称



1kgf/cm<sup>2</sup> ≒ 100kPa

### 空気圧の目安(参考)

・乗用車	210~240kPa前後
・中型バイク	200~250kPa前後
・大型バイク	250~290kPa前後

### ◆使用方法

△口金には米式用と英/仏式用の二種類のバルブ口があります。お間違えのないよう確認のうえご使用下さい。

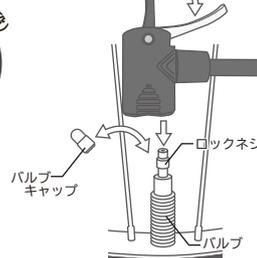
- ①ホースをホースホルダーから外す。
- ②タイヤ側チューブバルブのキャップを外す。
- ③口金のロックレバーを倒す(ロック解除)。
- ④口金をタイヤ側チューブバルブに差し込む。

△仏式バルブの場合、ロックネジを緩めて頭を押して空気が出ることを確認してからバルブ口に奥までしっかりと真っ直ぐに差し込んで下さい。

### 対応バルブ形状



起こす→ロック  
倒す→ロック解除



例：仏式バルブ

- ⑤口金のロックレバーを起こす(ロック)。操作には力が必要です。口金部分をしっかりと握って下さい。バルブ側に必要以上の力が加わると破損する恐れがあります。
- △メーターが動く事を確認して下さい。
- ※英式バルブの場合、構造上、この段階ではメーターは動きません。
- ⑥本製品のステップ部を踏んで固定し、グリップを両手でしっかりと握り、ピストンロッドを上下させ(以下ポンピング)空気を注入して下さい。
- △ポンピングの際は、いっぱいまで引き上げた後、完全に止まるまで垂直に押し下げ、シリンダー内の空気を出し切って下さい。また、完全に空気を出し切ったからステップ部の足を外して下さい。
- △シリンダー内の空気圧によりグリップ部が飛び出す恐れがあります。ポンピングの途中で手を離さないで下さい。
- ⑦ロックレバーを倒し口金を外して下さい。ロックレバーを倒さず口金を外すと、内部のパッキンが磨耗して痛み、不具合の原因となります。
- ⑧バルブキャップを締めて下さい。仏式バルブの場合はロックネジを閉めてからバルブキャップを締めて下さい。

### △お取扱い上の注意

- ※安全にご使用いただくために下記事項を必ずお読み下さい。
- ご使用前に本製品のグリップ部やステップ部に亀裂や変形がない事をご確認下さい。
- 本製品のシリンダー部とキャップ部に緩みが無く、確実に固定されている事をご確認下さい。
- 本製品のシリンダー部とステップ部に緩みが無く、確実に固定されている事をご確認下さい。
- シリンダーキャップやグリップを外したり、分解や改造をしないで下さい。
- 本製品は、必ず平らな場所でご使用下さい。
- ご使用の際には、周囲の安全を確認して下さい。また、必ず運動靴など安全な装備で作業して下さい。
- 作業中、指や手などを挟まないよう十分注意して下さい。
- 空気を注入する際は、ステップ部をしっかりと足で押さえ、両手でグリップをにぎり、上下に動かして下さい。
- 本製品の使用中に操作力が大きくなってタイヤに空気が入らない場合、ポンプ内が高圧になり破裂などの危険がありますので作業を中止して下さい。英式バルブの場合、タイヤバルブに使用している虫ゴム劣化の可能性もあるので、販売店などにご相談下さい。
- ご使用中やご使用后、本製品を雨ざらしにしたり直射日光があたる場所に放置しないで下さい。
- シリンダー内のパッキンの磨耗を防ぐため、定期的にピストンロッドを上下させ(以下ポンピング)作動状態を点検して下さい。ポンピングが重く感じた場合や、動きが悪くなった場合は、ピストンロッドとシリンダーの隙間に機械油を差して下さい。
- 英式バルブをご使用の場合、構造上、圧力ゲージの表示圧とタイヤなどの内圧との間に差が生じます。
- 圧力ゲージの方の故障で過大な空気圧が充填される事を防ぐため、タイヤを指で押すなどして確認して下さい。
- 仏式バルブの露出が約20mm以下のホイールには使用できない場合があります。
- 指定空気圧が500kPa以上のタイヤにはご使用出来ません。(スポーツサイクル、ロードサイクルなど)
- 本製品に強い衝撃を与えないで下さい。故障や破損の原因となりますのでご注意ください。
- 本製品は、空気充填用です。表示外の目的には使用しないで下さい。
- お子様の手の届かない場所に保管して下さい。
- 本製品に使用されている樹脂やゴムは、使用の有無に関わらず徐々に劣化します。
- 本製品に破損・変形・緩みなどの異常が見られる場合は、製品の使用を中止し販売店もしくは本書記載の輸入元へご連絡下さい。



この製品は日本で企画・設計し  
中国で製造しました。

改良のため、予告なく仕様及び外觀の変更をすることがあります。

袋  
紙

全国自動車用品工業会会員  
**ニューレイトン株式会社**  
輸入元：  
〒133-0065 東京都江戸川区南篠崎町4-14-11  
電話 03(3676)2991(代) FAX 03(3676)2996  
http://www.newrayton.co.jp/